

令和元年 12 月 4 日

## 市民公開 映画上映・シンポジウム 「阿武隈における山の暮らしの現状と再生」

藤原遥准教授は今年 4 月に本学の経済経営学類に着任し、ゼミの一期生を迎え入れ、田村市都路町を拠点に阿武隈地域における山の暮らしの再生をテーマに現地調査を実施しています。

そしてこの度、阿武隈地域の住民の方々とともに山の暮らしの再生にむけて本格的に取り組んでいくためのキックオフ企画として、12 月 13 日(金)に市民公開の映画上映会・シンポジウムを本学にて開催します。

本企画では、東京電力福島第一原子力発電所事故(以下、福島原発事故)による山の暮らしの被害実態を踏まえたうえで、当事者、椎茸原木・椎茸生産者が再生に向かう姿を記録した映画監督、山の放射能汚染対策に関わってきた研究者とともに山の暮らしの再生のあり方について検討することを目的としています。藤原遥ゼミ一期生による現地調査の活動報告も予定しております。

開催にあたり事前の周知及び当日の取材をよろしくお願いいたします。

阿武隈地域は、広葉樹の豊富な阿武隈山系に囲まれ、山の資源に依拠した生活、生業を営んできた地域です。広葉樹林を活用し、椎茸原木・椎茸生産が行われてきました。しかし、福島原発事故により、山の資源が汚染され、生活や生業における被害が続いています。8 年経った現在においても、山の資源にはいまだ放射性物質の基準値を超えるものが多くあり、利用に制約がかかっています。山の資源に依拠した生活や生業、そしてそれらを通じて存在していた文化やコミュニティも衰退の危機に直面しています。

今回上映する映画は、放射能汚染により椎茸原木・椎茸の出荷がほぼ止まった状態である阿武隈地域の生産者が置かれている現状と再生に向かう姿を描いたドキュメンタリー映画となっております。今年完成され、9 月にポレポレ東中野で初上映されました。監督が福島県郡山市に居を移して 5 年間撮り続けて完成した作品です。

### 【 藤原遥ゼミ一期生について 】

田村市都路町を拠点に山の暮らしの再生に向けた実践的研究を行なっています。今回のシンポジウムでは、都路町における福島原発事故による山の生活・生業および地域コミュニティへの影響について報告します。

(お問い合わせ先)

経済経営学類准教授 藤原遥

電話：024-548-8361

メール：h-fujiwara@econ.fukushima-u.ac.jp



市民公開 映画上映・シンポジウム

# 阿武隈における 山の暮らしの現状と再生

2019年12月13日(金)

時間：16:20～19:30

場所：福島大学L3教室  
(福島市金谷川1)

入場無料・予約不要

## プログラム

第1部 映画上映(129分)

「失われた春  
～シイタケの教え」

第2部 シンポジウム

- 基調講演 田嶋雅己氏 (映画監督)
- 現状報告 工藤義行氏 (原木椎茸農家)
- 研究報告 三浦覚氏 (森林総合研究所)
- 活動報告 藤原遥ゼミ一期生

